



JR 連合 NEWS

JR 産業に集う
すべての仲間の
JR 連合への
総結集を！！

2023 年度

No. 11

2023年7月14日

日本鉄道労働組合連合会

貨物鉄産労第39回定期全国大会

辻村委員長を選出、JR世代執行部の躍進を決意！

貨物鉄産労は7月10日、ホテルアソシア静岡において第39回定期全国大会を開催し、2023年度の運動方針を満場一致で決定するとともに、大杉正美委員長ら国鉄入社世代の役員が退任、辻村和裕委員長をはじめとするJR入社世代による新執行部が選出された。来賓としてJR連合国会議員懇談会会長の榛葉賀津也参議院議員、交運共済松岡裕次理事長、JR連合からは荻山市朗会長が出席した。

産労 第39回定期



大杉委員長

大杉中央執行委員長（JR連合副会長）は挨拶で主要課題である「安全の確立」「JR貨物の経営状況と2024年問題をはじめ政策課題への対応」「組織拡大と民主化闘争完遂」について提起した。組織と政策の課題に関して「持続可能な鉄道貨物を築くにはJR各社間の連携が求められる。JR貨物が信頼を得て経営自立するためにも労使関係の正常化が不可欠だ」と述べ、新執行部の果敢な取り組みを訴えた。

榛葉議員は「JR貨物にとって今後数年間が正念場。政府や与党との連携をはじめ、あらゆる手段で会社と職場を守らなければならない。民主化闘争も積極的に支援する」と決意を述べて奮起を促した。

荻山会長は「JR貨物が期待に応えるために、荷主の理解・協力の促進や貨物ルート強靱化など課題と処方箋は示されている。本州・北海道の貨物ルート確保、線路使用料の問題を含めてJR各社や政治・行政の力なくして問題は解決しない。JR連合・貨物鉄産労が会社の信頼できるパートナーであることは明らか。私たちの活動や政策力をしっかり伝えれば、必ず組織拡大が進む。自信を持って全力で取り組もう」と挨拶した。

産労 第39回定期



榛葉議員

私たちの取り組みをアピールしJR世代が主体的に行動する必要性を確認！

質疑応答では、全地区本部や青年女性委員会の代表が政策課題の解決、離職防止のための職場の魅力向上、そのための基盤となる組織拡大に関して報告と決意を述べ熱心に討議した。JR東海ユニオン指令員との意見交換会や全国の若手が集うユースラーなどの紹介もあり、JR連合にしかできない有意義な活動のPRやJR採用者の主体的な行動の必要性について確認し合った。

辻村書記長の集約答弁を受けてすべての議案を満場一致で可決し、JR世代で構成される新執行部を選出。今後の組織拡大へ躍進を決意し、力強く運動を始動させた。

【新執行部 [三役]、いずれも新任】
中央執行委員長 辻村 和裕
中央執行副委員長 吉永 和史
書記長 橋爪 博史



バトンを受け継いだ辻村新委員長（左）